

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	産業建設常任委員会		会議場所 第2委員会室 担当職員 三宅
日 時	平成26年9月25日(月曜日)	開 議	午後 3 時 25 分
		閉 議	午後 3 時 38 分
出席委員	齊藤 中澤 福井 馬場 小島 菱田 日高 湊		
出席理事者			
出席事務局	三宅主任		
傍聴者	市民 名	報道関係者 名	議員1名(西村)

会 議 の 概 要

15 : 25

1 開議

2 意見書案について

< 齊藤委員長 >

馬場委員から提案のあった「政府による緊急の過剰米処理を求める意見書案」について、その取扱いを協議する。各委員の意見を求める。

< 馬場委員 >

意見書案の内容に全員が賛同できるのであれば、委員会発議でどうかと考える。内容に変更を加える箇所があれば、一致できる内容で調整したいと考えているが、全員の賛同がない場合は、議員提案として議会運営委員会に提出したい。

< 事務局 >

委員会で発議する場合は、その内容について全員の合意が前提となることから、その協議を願いたい。

< 菱田委員 >

過剰米対策だけではなく、新米の米価下落を踏まえて米農家に対する緊急的な経営支援を盛り込んだ内容にしてはどうかと考えている。また、各農業関係団体の考え方も把握し、参考としたい。

< 中澤副委員長 >

農協は少し考え方が違うようである。馬場委員の意見書案は、他市議会でいつ頃可決したものに基づいているのか。

< 馬場委員 >

今9月に提案、可決されたものである。

< 中澤副委員長 >

その内容中、米価の下落について、国の方針の見通しの悪さや攻めの農政改革による需給調整からの撤退を指摘しているが、そのあたりについて農業者団体の考え方を確認しておくべきである。過剰米を前面にするのではなく、むしろ自助努力や販売戦略等により、国、府と調整していきたいという意向を聞いている。過剰米処理のみに要請を行うのはいかがかと考える。

< 馬場委員 >

全国的な流れとしては、全農も踏まえ本内容で提案されている。ただ京都に関して

は、違う面もあることから、折り合いのつく内容で調整できればと考える。

< 中澤副委員長 >

他市議会における提案状況はどうか。

< 事務局 >

全国市議会議長会への登録状況については、同趣旨の意見書は現時点で1件のみであるが、やはり9月定例会に多くの市議会において、意見書提出を求める請願の審査や議員提案で意見書案が提出されている動きがある。本市議会と同様、これから議決を迎えるところが多いため、その動向がわかりにくい、否決されている議会も見受けられる。委員会発議とする場合は、当委員会で慎重に検討の上、取り扱うことを願いたい。

< 馬場委員 >

当委員会発議又は議員提案の選択肢により考えていきたい。

< 齊藤委員長 >

各委員においては考えを整理し、次回引き続いて協議を行うこととしたい。

~ 散会 15 : 38